

4月
April

使っている花 ■ カラー (クリスタルブラッシュ)、レースフラワー (グリーンミスト)、ニゲラ (パピローサアフリカンブライド)、トリスティス、ハゴロモジャスミン



カラー

花言葉 ■ 華麗なる美 / 乙女のしとやかさ

スタイリッシュな花、瑞々しいステム
美しき女神と白グリーンの花々とあわせて

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 仏炎苞 (ぶつえんほう=花に見える白いカール) にしわの寄っていないもの、花弁の先が変色していないもの、花粉が吹き出していないものを選びましょう。
- 高温が苦手なので、できるだけ涼しい場所に飾りましょう。
- 乾燥を防ぐために、仏炎苞の部分に霧吹きをするとさらにグッド!

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① カラーの長いラインを活かすため背が高めの器を選び、水を半分くらいまで入れます。
- ② まずグリーンミストの水に浸かる下葉を取り除き、ふわっと生けます。次にカラーをのびやかにあしらいます。
- ③ トリスティスやニゲラでアレンジの合間にアクセントをつければ完成です!

モードな白、凛と佇むエレガンス

春が最盛の水辺で育つゴージャスな大輪系と、4月を境に増える畑地で育つカラフルな品種群の大きく2タイプがあります。画像の「クリスタルブラッシュ」は畑地性で、茎が細くアレンジしやすいコンパクトなサイズで人気。純白のカラーは、ギリシャ神話の全能の神ゼウスの美しき妻、結婚と母性を司る最高位の女神ヘラを象徴する花とも。



WEEKEND
FLOWER

カラー

花言葉 ■ 華麗なる美 / 乙女のしとやかさ

スタイリッシュな花、瑞々しいステム
美しき女神と白グリーンの花々とあわせて

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 仏炎苞 (ぶつえんほう=花に見える白いカール) にしわの寄っていないもの、花弁の先が変色していないもの、花粉が吹き出していないものを選びましょう。
- 高温が苦手なので、できるだけ涼しい場所に飾りましょう。
- 乾燥を防ぐために、仏炎苞の部分に霧吹きをするとさらにグッド!

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① カラーの長いラインを活かすため背が高めの器を選び、水を半分くらいまで入れます。
- ② まずグリーンミストの水に浸かる下葉を取り除き、ふわっと生けます。次にカラーをのびやかにあしらいます。
- ③ トリスティスやニゲラでアレンジの合間にアクセントをつければ完成です!

モードな白、凛と佇むエレガンス

春が最盛の水辺で育つゴージャスな大輪系と、4月を境に増える畑地で育つカラフルな品種群の大きく2タイプがあります。画像の「クリスタルブラッシュ」は畑地性で、茎が細くアレンジしやすいコンパクトなサイズで人気。純白のカラーは、ギリシャ神話の全能の神ゼウスの美しき妻、結婚と母性を司る最高位の女神ヘラを象徴する花とも。



WEEKEND
FLOWER

使っている花 ■ カラー (クリスタルブラッシュ)、レースフラワー (グリーンミスト)、ニゲラ (パピローサアフリカンブライド)、トリスティス、ハゴロモジャスミン

4月
April



4月
April

使っている花 ■ カラー (クリスタルブラッシュ)、レースフラワー (グリーンミスト)、ニゲラ (パピローサアフリカンブライド)、トリスティス、ハゴロモジャスミン



カラー

花言葉 ■ 華麗なる美 / 乙女のしとやかさ

スタイリッシュな花、瑞々しいステム
美しき女神と白グリーンの花々とあわせて

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 仏炎苞 (ぶつえんほう=花に見える白いカール) にしわの寄っていないもの、花弁の先が変色していないもの、花粉が吹き出していないものを選びましょう。
- 高温が苦手なので、できるだけ涼しい場所に飾りましょう。
- 乾燥を防ぐために、仏炎苞の部分に霧吹きをするとさらにグッド!

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① カラーの長いラインを活かすため背が高めの器を選び、水を半分くらいまで入れます。
- ② まずグリーンミストの水に浸かる下葉を取り除き、ふわっと生けます。次にカラーをのびやかにあしらいます。
- ③ トリスティスやニゲラでアレンジの合間にアクセントをつければ完成です!

モードな白、凛と佇むエレガンス

春が最盛の水辺で育つゴージャスな大輪系と、4月を境に増える畑地で育つカラフルな品種群の大きく2タイプがあります。画像の「クリスタルブラッシュ」は畑地性で、茎が細くアレンジしやすいコンパクトなサイズで人気。純白のカラーは、ギリシャ神話の全能の神ゼウスの美しき妻、結婚と母性を司る最高位の女神ヘラを象徴する花とも。



WEEKEND
FLOWER

カラー

花言葉 ■ 華麗なる美 / 乙女のしとやかさ

スタイリッシュな花、瑞々しいステム
美しき女神と白グリーンの花々とあわせて

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 仏炎苞 (ぶつえんほう=花に見える白いカール) にしわの寄っていないもの、花弁の先が変色していないもの、花粉が吹き出していないものを選びましょう。
- 高温が苦手なので、できるだけ涼しい場所に飾りましょう。
- 乾燥を防ぐために、仏炎苞の部分に霧吹きをするとさらにグッド!

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① カラーの長いラインを活かすため背が高めの器を選び、水を半分くらいまで入れます。
- ② まずグリーンミストの水に浸かる下葉を取り除き、ふわっと生けます。次にカラーをのびやかにあしらいます。
- ③ トリスティスやニゲラでアレンジの合間にアクセントをつければ完成です!

モードな白、凛と佇むエレガンス

春が最盛の水辺で育つゴージャスな大輪系と、4月を境に増える畑地で育つカラフルな品種群の大きく2タイプがあります。画像の「クリスタルブラッシュ」は畑地性で、茎が細くアレンジしやすいコンパクトなサイズで人気。純白のカラーは、ギリシャ神話の全能の神ゼウスの美しき妻、結婚と母性を司る最高位の女神ヘラを象徴する花とも。



WEEKEND
FLOWER

使っている花 ■ カラー (クリスタルブラッシュ)、レースフラワー (グリーンミスト)、ニゲラ (パピローサアフリカンブライド)、トリスティス、ハゴロモジャスミン

4月
April

